

適切な避難行動をとって避難！

令和元年東日本台風（令和元年台風第19号）では、東日本を中心とした記録的な大雨により、各地で河川の決壊や土砂災害などによる甚大な被害が発生しました。

この台風や、その他の豪雨において、「避難をしなかった」「避難が遅れた」ことによる被災や、屋外移動中の被災が多かったことを受け、内閣府が警戒レベルの見直しを行い、令和3年5月に「避難情報に関するガイドライン」が改定されました。

問い合わせ 危機管理課防災・消防担当



いざ避難！知っておくべき5つのポイント

- 避難とは、「難」を「避」けること
安全な場所にいる人まで避難場所に行く必要はありません。
- 避難先は、小・中学校、公民館だけではありません。**安全な親戚・知人宅に避難すること**も考えてみましょう。日頃から相談しておきましょう。
- 体温計、消毒液、マスク**はできるだけ**自ら携帯**してください。
- 市が指定している**避難場所、避難所が変更・増設されている可能性**があります。災害時には**防災行政無線（広報塔）・市ホームページ**などで確認してください。
- 豪雨時の屋外の移動は**車も含め危険**です。やむを得ず**車中泊をする場合は**、浸水しないよう**周囲の状況等を十分確認**してください。

■**緊急速報メール（エリアメール）**
災害が発生した際、市内の各携帯電話事業者（NTTドコモ、ソフトバンクモバイル、KDDI、楽天モバイル）端末を対象に、市からの避難情報や緊急情報が一斉配信されます。登録方法等は、ご利用の携帯電話事業者へご確認ください。



■**市公式ホームページ**
避難情報等のほか、災害への備え等に関する情報が掲載されています。



■**Yahoo!防災速報アプリ**
スマートフォン用「Yahoo!防災速報」をインストールし、アプリ内で日高市を地点登録すると、さまざまな防災情報をプッシュ通知で受け取ることができます。

「日高市防災ハザードマップ」で最新の避難情報等を確認！

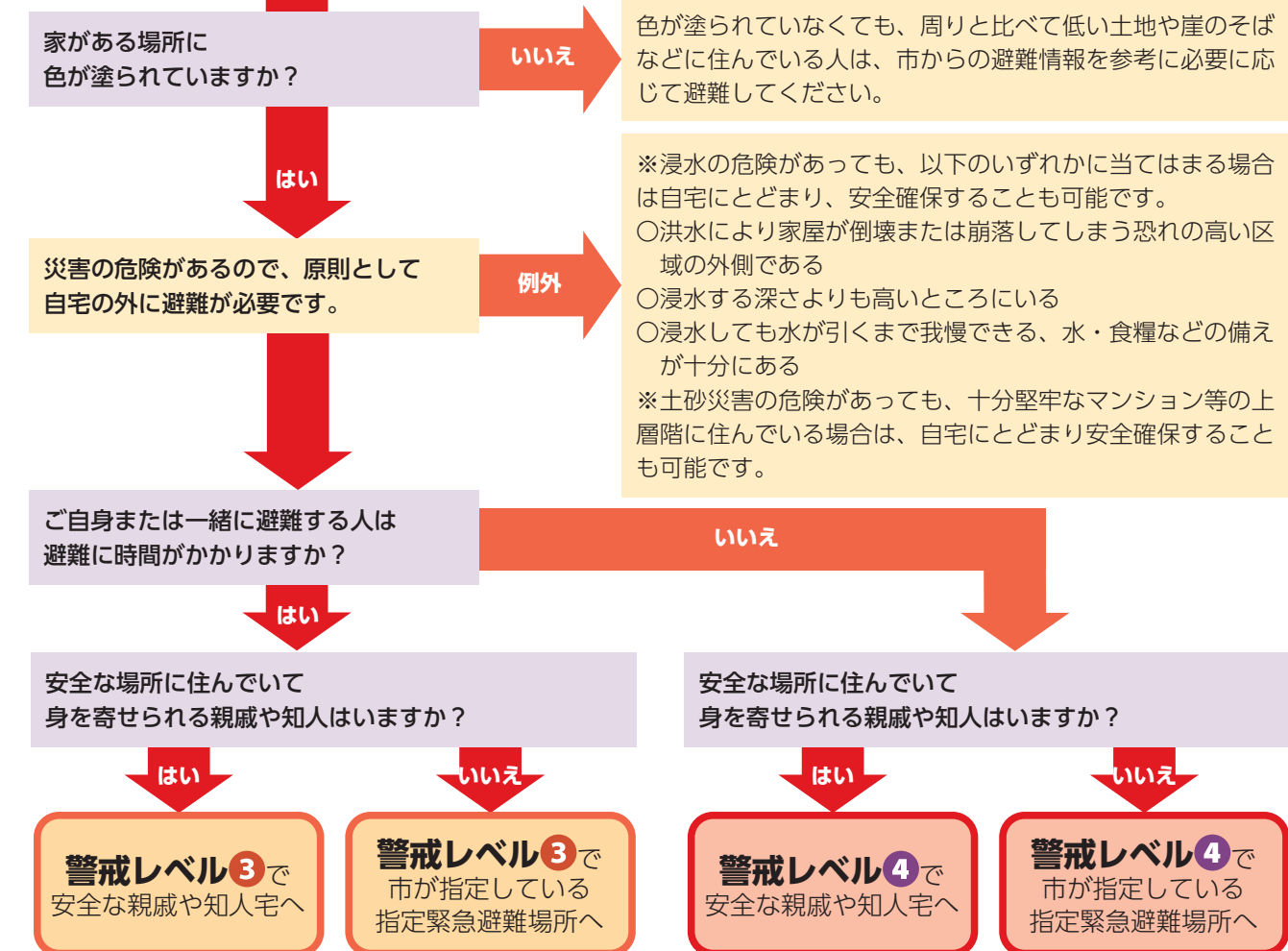
水害、土砂災害、地震等の情報をまとめた、「日高市防災ハザードマップ」最新版ができました。市役所、公民館、出張所で配布しているほか、市ホームページからもダウンロードできます。



水害・土砂災害時の避難行動を確かめておきましょう

水害・土砂災害ハザードマップで、自分の家がどこにあるか印をつけてみましょう

※浸水や土砂災害が発生する恐れの高い区域を着色した地図です。着色されていないところでも、災害が起こる可能性があります。



■**ひだか防災メール（防災行政無線メール配信サービス）**
防災行政無線（広報塔）で放送した内容を、携帯電話やスマートフォンで受信することができます。大雨時などは、放送内容が聞き取りづらくなります。市からの情報を確実に入手できるように、city.hidaka.satama.jpへ空メールを送信するか、QRコードを読み取り、登録しておきましょう。



■**防災行政無線（広報塔）**
避難情報に関することや、開設している避難所等について、緊急放送を実施します。
放送内容は、市ホームページや広報塔聞き直しサービス（☎9855-3100）でも確認できます。



■**市が発信する情報を確実に入手しましょう**
災害時には、複数の手段で確実に情報を入手できるようにしておきましょう。